

# 久賀高校同窓会広島支部活動報告（抜粋）

広島支部会長 石田元教

## 平成22年度広島支部総会並びに懇親会について（ご報告とお願い）

11月23日、昨年同様「ピアローゼン」で開催され、本部より小原 勇会長（8回卒）、藤谷（11回卒）、横井（11回卒）両副会長、周防大島高校より光田伸幸校長出席のもと、平成22年度の総会並びに懇親会が和やかに開催されました。

まず総会に先立ち、今年の総会で上映したDVDの姉妹編とも言うべき「福祉の星たち」を本部の協力により上映し参加者全員観賞するとともに、母校の新しい歩みを新たためて実感しました。

総会では、式次第に則り、

- 1、 物故者への黙祷
- 2、 事業報告、決算報告、会計監査報告、役員・顧問（案）を提案し、満場一致で承認された。

## 小原会長の挨拶（要旨）

同窓会に対する広島支部の熱い思いに感謝し、且つ一層の発展を祈念するとの言葉の後、

- (1) 久賀高、安下庄高両同窓会の統合については、同窓会会員の納得のいく結論を得るべく、また、大島郡内に高等学校の場を存続させることを第一の優先課題として解決すべく努力をしている。
- (2) 高等教育の島内存続については11月、教育委員会に請願書を提出し、結果待ちの状況である。
- (3) 福祉科の設置に対し、同窓会の諸先輩の苦勞により新設されたが、当時の様子を知る人間が現在では少なくなっている。  
当時を知る一人として振り返ってみると、県教委が挙げた新設の条件に対し、
  - ①「地域が燃えて欲しい」ということには同窓会を幹に、町議会、地域を枝に諸活動を展開し、実現に向け一丸となった。
  - ②「寮が完成するまで生徒の宿舎を準備してほしい」ということに関しては、アパートの借り上げ、ふるさと館の活用等、同窓会が中心になり準備・管理をおこなった。
  - ③「教育財団を設立して欲しい」という企画には巨額な資金（5千万円）が必要なため実現できなかった。等で対処したが、いずれにしても同窓会が福祉科の生みの親であると共に、育ての親として関わったことに対し同窓生として誇り思っている。
- (4) DVD[永劫燦たる光明あれ]が完成したのを機に、初代校長始め関係者に配布したところ、
  - ・ 開校当時の熱い思いが今も脈々と続いている。DVDを見て感激した
  - ・ 岡本映画監督という良い先輩を持って幸せである。同窓会は不滅であり、このような企画を持つ同窓会は全国的にも類をみないのではないかと、等々の感想を聞かせていただいている。という報告があり、いずれも課題の多い中、同窓会会員の協力を得て諸活動を進めていきたいとの想いを熱く語っていただきました。

## 光田校長挨拶（要旨）

周防大島高校の現状

- 1、 アーチェリー、ボートがインターハイに出場すると共に、来年秋の山口国体の強化指定校になっており、同窓会の物心両面にわたっての応援をお願いしたい。
- 2、 国体のアーチェリー競技は旧東和町の運動公園で開催（長浦は競技には狭い由）されるので、興味のある方はぜひ観戦してほしい。
- 3、 福祉科の2年生から新カリキュラムになり、専門学校並みの授業となる予定であったが、文部省の都合で実施が遅れている。  
なお、DVD[福祉の星たち]を県下全中学校に配布した。これにより新入生の増加を期待している。
- 4、 野球部は秋の周東大会で優勝した。来たるシーズンの活躍を期待している。

## 藤谷副会長（兼福祉を支援する会々長）挨拶（要旨）

- 1、 DVD 販売に併せて行った支援金募集（寄付金）の総額が28万円余になった。
- 2、 この募金でDVD「福祉の星たち」を購入し
  - ① 光田校長を通じ県下全中学校に配布した。
  - ② 周防大島町教育委員会を通じ、島内の全小学校及び図書館に配布した。  
DVD が活用され、優秀な人材が入学してくれることを期待している。

今回の総会並びに懇親会は、例年のように母校を取り巻く環境を直接の当事者である会長、校長、副会長から聞くだけでなく、母校の新しい歴史を映像で理解する貴重な機会でした。

今後とも、私ども役員は同窓会の発展、周防大島高校の発展に精一杯の努力をさせていただきますので、来年度はぜひ出席をお考えいただくようお願いします。

それでは、あと僅かとなりました今年をつつがなくお過ごしになり、皆様お揃いで良い新年を迎えられますよう心からお祈りし、来年の出席を重ねてお願いして報告といたします。